

【NEWS RELEASE】

2018年7月17日

各位

株式会社三井住友銀行

山崎金属産業株式会社の「SMBC働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、山崎金属産業株式会社（代表取締役社長：山崎 洋一郎）の発行する「SMBC働き方改革私募債」を買受け致しました。

「SMBC働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、山崎金属産業株式会社に対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、山崎金属産業株式会社では、以下のような取組と実績を有しておられます。

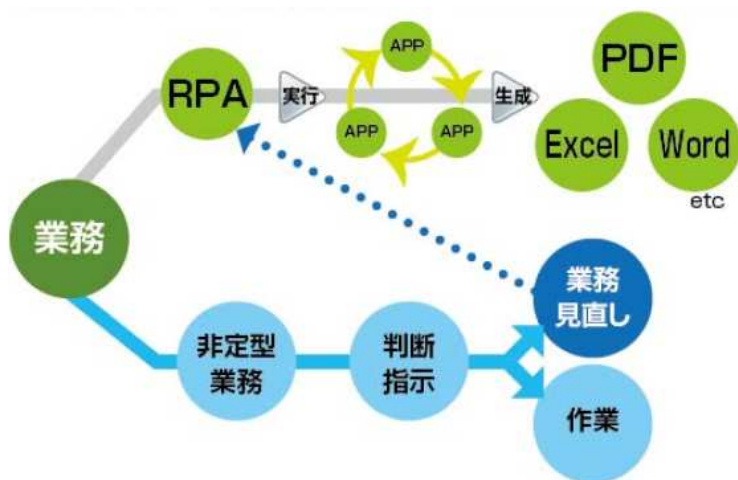
- 勤務実績状況を見える化し、申請時間と大幅な乖離がある従業員の上司には改善要請を促すことで、長時間労働を抑制
- 生産性向上に向けて、パソコンの機種交換、RPA やコミュニケーション支援ツールの導入に取り組む
- 介護及び子育て（子どもが6歳まで）を事由に利用可能な短時間勤務制度を整備し、従業員の仕事と家庭の両立を支援

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「通常の就業時間内における個々の生産性の質的向上を図り、あわせてITを活用して労働の効率化を行ない、全社として不要な時間外労働を削減」、「メリハリをつけた働き方をすることで労働に対するモチベーションを上げる」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下3点をコミットしておられます。

- ・時間外労働を出来る限り減少させる
- ・長時間労働を是正し、体調面や精神面を健康的に保つ努力をする
- ・2018年度中にRPAを積極導入し、繰り返しや単純なPC作業を削減し、生産性向上につなげる

三井住友銀行では、「SMBC働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

(同社の業務効率化フロー)



・ 同社では、RPA を 2017 年度より導入し、社員の業務を順次精査し RPA 化を推進。
・ 業務見直しによる効率化を進めるとともに、作業時間の短縮や人的ミスの防止で品質向上に努めることで、お客さまへの満足度に繋がられるようグループ全体で意識改革に取り組まれています。

() “見える化” については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。